

No.	地区	項目	意見要約	市長回答等	所管課	所管課補足
1	金久地区	学校の和式トイレについて	奄美不登校対策プロジェクトについて、和式トイレを使いたくないから学校に行きたくないということにならないよう、対策をしてほしい。	奄美市では、年次的に学校の校舎の改修を行っており、市内28校で順番に改修を進めているところです。全て完了するには時間がかかりますが、着実に洋式化を図っているところであり、今現在は手元に資料がなく、洋式化の割合はお答えできませんが、今後とも洋式トイレが増えるよう取り組んでまいります。また、今年度から始まる不登校対策プロジェクトでは、小中学校合わせて約3100名の児童・生徒のうち、年度末には約200名程度、全体の7～8%程度が不登校になると言われております。対策として、全生徒にタブレットを配布し、家庭学習を可能にしたり、民間のフリースクールや学校内の別室登校、市役所内のふれあい教室など、様々な繋がりを持てるように取り組んでいきたいと思います。社会との繋がりを持ち、不登校が長期化して、立ち直りが難しくならないよう力を入れて支援してまいりたいと思います。	教育委員会 教育総務課	トイレの洋式化率は小中学校全体で50%となっております（令和6年5月時点）。今後も校舎の改修等に合わせて順次洋式化を進めるよう取り組んでまいります。
2	金久地区	避難場所について	矢之脇町内は矢之脇公園が一番の避難場所だったが、海拔3mである。南海トラフ地震による津波や、砂防ダムが崩れた場合の避難について、金久中学校の体育館までは高齢者は行けない。里見海運さんのマンションも避難場所になっているが階段があって登れない。公園の左かららんかん山へ避難路を作れないか。昔からある階段の草刈りも予算の関係で進まない。観光マップにも載っているらんかん山への避難路整備を検討してほしい。入江の町なので、津波避難場所として隣の拘置所を活用できないか協議したが、水害時の避難場所になっている。らんかん山に逃げる方法を検討してほしい。	今年度も防災に関する取り組みをしっかりと行ってまいります。「安心して豊かに暮らせる守る地域」資料には一部の取り組みを記載しておりますが、新規事業として、集落防災訓練モデル事業や食料品ストック機能強化支援事業などがあり、民有地危険木伐採費用助成金なども防災に繋がるものです。また、従来から行っており、自主防災組織への支援や出前講座も継続してまいります。市としては高齢者や障害者など、避難困難者の避難を考える個別避難計画を作成し、地域や介護・福祉事業者と連携して、避難する取り組みも行っております。南海トラフ地震については、奄美市の震度は3程度、津波は6m程度と推測されております。到達時間は50分程度と予測されておりますので、慌てず、津波警報が出たら10m以上の場所に避難していただきたいと思います。なお、喜界島沖地震について、震度6強、津波8mと推測されており、より注意が必要です。矢之脇町の皆さんの避難については、会長の提案も踏まえ、奄美市有地の管理を定期的に行う必要があると考えます。防災アドバイザーである鹿児島大学の井村教授と各地で話し合い、避難場所などのアドバイスを受けているところですので、頑丈なビルなども活用できるよう、市として橋渡しをさせていただきたいと思います。今後とも自治会長や役員の皆様としっかりコミュニケーションを取って検討させていただきたいと思います。	総務課	補足なし
3	金久地区	人口増の対策について	人口流出を防ぐために、高卒の地元就職者への家賃補助があったが、流入を増やすために、移住者に対して一定期間の市民税減免などを検討できないか。	移住者の方々への支援制度として、中古物件の購入やリフォームに対して最大50万円から100万円の支援を行っているところです。人手不足が顕著な業種、建設・介護・保育・大島紬、公共交通運転手など、6つの業種に就職した方には、技術に応じて15万円から20万円の給付金を提供しているところです。税に関しては、国で定められているものであり難しいため、給付という形で支援を行っているところです。今後も様々な地域の事例を参考に、移住者が増えるよう努力してまいります。	プロジェクト推進課 商工政策課	（プロジェクト推進課）補足なし （商工政策課）人手不足への対応策として、本市では「建設業」「介護・福祉業」「公共交通」「宿泊業」「大島紬」「情報通信業」の業種を支援強化業種に指定し、これらの分野に就職した方に対して給付金を支給することで、市内事業所の人材確保を支援しています。 なお、給付金の額は就職者の資格の有無により異なり、資格を有しない場合は15万円、資格を有している場合は20万円を支給しています。
4	金久地区	総務課	小学校の通学路で、裁判所通りから拘置所の通りの道は、駐車禁止と速度30km制限があるが、朝の7時から8時の通学時間帯に、速度超過の車が多く危険と感じる。通学路であることや徐行を促す看板を設置してほしい。	ご意見の道路については、車道と分離した歩道がなく、抜け道として利用する人も多いため危険だと思います。ゾーン30にはなっていないとのことですので、名瀬小学校周辺で行っているように、路面にペイントして速度を抑制する取り組みを検討させていただきます。併せて奄美警察署にも相談させていただき、通学時間帯にスピードを出さないよう立ち会ってもらうなど、速度超過の抑制に努めたいと思います。	土木課 総務課	（土木課）（総務課）補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答等	所管課	所管課補足
5	金久地区	道路脇の雑草、川の雑草、外灯について	広い道路沿いの植え込みの雑草、細い道路の雑草、外灯の少なさ、新川の河川整備（土砂撤去、草刈り）の状況について教えてほしい。また、特に金久公園のまわり、屋仁川付近など外灯が少なく感じる。外灯を設置する際は、エコな街灯を設置してほしい。奄美開運酒造前の大きい道路（マリントワーの後ろ）の管理者は市か県か。	大きな道路沿いの植え込みは、市や鹿児島県で舗装したり、メンテナンスフリーの材料を埋め込んだりする取り組みを進めております。道路沿いの草木の伐採は定期的に行っていますが、市が管理する道路は約500kmあり、年に1、2回程度の伐採にとどまっているのが現状ですので、町内会・自治会があるところは協力をお願いできればと考えております。河川の土砂撤去や草刈りについても、県や市が定期的に行っているところですが、特に新川は堆積しやすい構造であり、県が3、4年に1回程度行っているところです。気になる、心配な河川があれば教えていただければと思います。大きな道路沿いの外灯は県や市が設置し、住宅地などは自治会・町内会で設置・管理してもらっております。金久町のあたりは自治会・町内会が存在しない地域もあるため、現状お話しいただいた状況になっていることと思います。市としては、町内会と町内会の間に外灯を設置したりしているところです。屋仁川通りについては、社交飲食業組合などに話を聞き、必要であれば市での外灯設置も検討したいと思います。奄美開運酒造前の道路は県道です。湾岸道路や国道も基本、県の管理なので、県と市と自治会等で調整し、今後の建築物の状況を見ながら、外灯設置を検討していきたいと思います。	土木課 総務課	（土木課）（総務課）補足なし
6	金久地区	防災行政無線の運用について 国民保護について	携帯電話で防災スピーカーに流せるようにしてほしい。塩浜町ではできるようになったと聞いている。会長などがどこからでも町内に緊急連絡できるようになる。また、南西諸島での防衛に対する住民の避難について、国との連携状況はどうか。	防災行政無線は、矢之脇町内にスピーカーがあり、町内全域に聞こえるように調整させていただいているところです。放送に関しては、各地域のスピーカーでスマートフォンや携帯電話から放送できるようになっております。矢之脇町のスピーカーだけを鳴らすことも、時間指定や即時放送も可能なので、活用いただきたいと思います。併せて、放送が聞こえにくい世帯向けには、スマートフォンなどを持っていない高齢者宅などにタブレットを配置し、災害時に情報が伝わるようにすることを構想しているところです。国民保護（有事の際の島外避難）については、先日、奄美群島5市町村で初めての会議を開催したところです。昨年度冲永良部島で訓練が行われ、今年度は与論町で、令和8年度には奄美大島で訓練を行う予定と聞いております。奄美大島全住民が参加する規模ではありませんが、モデル地域を定めて行うと思われ、奄美市も他の町村と連携しながら計画作成を進め、行政だけでなく民間企業や他の行政機関、地域の団体（自治会、町内会、集落など）とも連携して推進してまいります。今年度はまずできることから取り組んでまいりたいと思います。	総務課	放送が聞こえにくい世帯向けに、防災ラジオ（防災行政無線からの緊急放送をコミュニティーFMを通じて自動放送するラジオ）の貸与も実施しています。
7	金久地区	物価高騰対策について	市内でも米が高騰し困っている。国の政策の問題だが、奄美市の物価高騰対策をお示しいただきたい。	数年前から物価高騰対策を行っており、学校、保育所、幼稚園、高齢者施設の食材費を支援し、給食費などが上がらないように措置を行っております。また、買い物に関して、「ほーらしゃ券」を販売し、プレミアムをつけて買い物ができるよう、家計と店舗を支援しているところです。国や県も様々な支援策を行っており、例を上げますと、県はバス・タクシー会社の燃料費支援、国は電気代やガソリン代への支援などを行っております。米につきましては、備蓄米が先日販売されたところですが、国の減反政策も見直しが必要ではないかと考えるところです。日本全体の米の消費量が減ったため、農家の皆さんは減産してきたことと思いますが、飼料米を食用米に転換するなどして米不足を解消できる可能性もあると考えます。国の大きな政策転換を要望しながら、地域経済を支えていけるよう取り組んでまいります。	教育委員会 学校給食センター 高齢者福祉課 商工政策課 農林水産課	（学校給食センター）給食食材費の約5割を市が負担（物価高騰対策以外の負担もあります。）することにより、保護者負担額を据え置いております。 （高齢者福祉課）補足なし （商工政策課）物価の高騰により経営に大きな影響を受けている中小企業者及び組合等が経営の安定化のために借り入れた資金について、予算の範囲内において利子を補給し、負担軽減を図っております。 （農林水産課）補足なし
8	金久地区	児童の着替えについて	娘が昨年小学校に入学したが、プールの着替え場所が男女一緒だったことに衝撃を受けた。学校に聞くと3年生から分けているが、1・2年生は教室に場所がないため一緒との説明があった。1・2年生こそ着替えに手間取るため、分けてほしいと学校に言ったが、すぐに変えられないとのことであった。個別対応は可能とのことだが、全ての児童がそうなるように分けてほしい。また、もし学校で必要な物品（カーテン、パーテーションなど）があれば、年度途中で予算で購入してもらえるのか。	お話しのお客様は、以前議会でも取り上げられたことがございます。基本的には教育委員会から指導・通達が出て、各学校で取り組んでおり、通学している学校では、3年生から分けている状況とのことだと思います。本来であれば1年生から着替えを分けるべきだと思いますので、教育長、教育委員会に申し伝え、教育委員会を通じて、全校に伝えたいと思います。	教育委員会 教育総務課	カーテンやパーテーションを設置し、余裕教室や空きスペースを更衣室に有効活用している例はこれまでもございますので、今後も学校からの要望や報告を踏まえ、適切に対応してまいります。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答等	所管課	所管課補足
9	金久地区	イノシシについて	山手に住んでいてイノシシが頻繁に出る。対応をお願いできないか。自宅ではなく通り道の上の方に出る。夕方や朝に頻繁に通り、襲われるか心配。下が公園なので、公園に降りる恐れもある。子供たちが遊ぶので心配。	(総務部長) 市の方では農林水産課が赤崎公園周辺で定期的に駆除を行っております。今回の話は農林水産課に伝え、どのような対応ができるか確認します。イノシシが増えていると感じておりますので、対策できるまでは、鉢合わせにならないよう十分注意してほしいと思います。	農林水産課	令和7年4月14日～6月12日までの60日間において、有害鳥獣捕獲指示を出し、猟友会の方々に対応いただきました(144頭を捕獲)。また、6月以降も第2回目の捕獲指示を出し、捕獲活動をしているところです。過去の捕獲実績を踏まえたわなの設置はもとより、市民の皆様からイノシシ目撃情報をいただいた際は、速やかに猟友会と共有し対応してまいります。